

ちくさんスナップショット

平成 27 年 5 月 第 48 号 株式会社富士飼料

【正範語録】

先日飲食店に入った際にトイレで面白い貼り紙を見つけましたのでご紹介致します。

『正範語録』

実力の差は努力の差 実績の差は責任感の差 人格の差は苦勞の差
真剣だと知恵が出る 中途半端だと愚痴が出る いい加減だと言い訳ばかり
本気でするから大抵のことはできる 本気でするから何でも面白い
本気でしているから誰かが助けてくれる

この貼り紙を見てハッとすると同時に自問自答してしまいました。仕事にも、経営にも、生活や趣味にもなんでもあてはまると思います。皆様はこの正範語録を見てどの様に感じましたでしょうか。我々富士飼料社員一同、これからもより一層真剣に、本気で皆様に貢献できるよう取り組んでまいります。

【宮城県南・福島担当：沼田幸朗】

【主原料(とうもろこし)産地変更】

仙台飼料でのとうもろこしの産地につきまして、現在、ブラジル産品を使用しておりますが、原料事情により5月中旬頃より米国産に産地変更となります。

米国産もブラジル産、南アフリカ産同様の品種(デント種)であることから形状、成分はさほど変わりませんが、色目はブラジル産と比較し黄色が薄くなる傾向にあります。

エサ全体の見た目が白っぽく、やや細目に見えるかもしれませんが、成分は保証されておりますのでご安心ください。

なお、石巻の工場においても追々産地変更になる可能性があります。

【東北支店：二瓶洋一】



【酪農】全国の生乳団体に再編案 価格交渉力を

政府や自民党に、飲用乳やチーズなどの原料となる生乳を酪農家から集めて乳業メーカーに販売する「指定生乳生産者団体」の再編案が浮上していることが18日、分かった。地域ごとの全国10団体を集約して規模を大きくすることでメーカーとの価格交渉力を向上させ、経営の厳しい農家の収入を増やす狙いだ。自民の酪農支援の検討チームが6月にまとめる提言に向けて検討する。農協などで構成する指定団体は、酪農家から生乳の販売委託を受け、乳業メーカーと価格を交渉し、販売する。ホクレン農業協同組合連合会や関東生乳販売農業協同組合連合会などがある。(2015.04.18 共同通信より)

これまでも価格交渉力を、と言われてきましたが活発化してまいりました。是非農家さんの手助けとなるように頑張ってもらいたいものです。

【宮城県南・福島担当：沼田幸朗】

【輸入粗飼料動向】北米港湾労使交渉まとまる

<アルファルファ>

カリフォルニア州インペリアルバレーでは、日中気温が約32℃前後となっており、2015年度産の収穫が始まっています。同地域の作付面積について、港湾情勢や中国における乳価の下落を背景にしたアルファルファの買い控えを要因として、過去5年で最低水準にまで下がっています。ワシントン州コロンビアベースンでも、日中気温が約23℃を超える、平年と比べ暖かい日が続いています。早いものでは4月下旬からの収穫作業開始が見込まれています。

港湾争議の影響で各地に旧穀在庫が発生していますが、これが引き金となり、先安感の強い展開となっています。

<チモシー>

港湾争議の影響から旧穀が滞留しているため輸出需要に不透明感が生じています。加えて、市場は一番刈り NO.1 の荷余傾向が強く、2 番刈りの価格も下落しているため、チモシーヘイは 1 番刈りのみの収穫とし、2 番刈りを待たずにとうもろこしへ転作することを検討している生産者が多くなっている様子です。

<豪州オーツ>

中国では乳価が下がったため、豪州産オーツヘイに関しては低グレード品への引き合いが強くなっています。ところが東・南豪州では早魃が起こったため、低グレード品の需要は西豪州に集中し、結果、低グレード品の価格がつかあがる傾向にあります。

また、米国西海岸の港湾争議による受渡の遅延および不安定性の影響から、豪州貨物へのオーダー集中が起こり、供給元によっては端境期を待たずに在庫が払底するところも見られます。（JA 全農情報サイトより抜粋）

【宮城県南 TMR 専任：斎藤勉】

【肉牛】新マルキン生産者積立金を大幅引下げ

肉用牛肥育経営安定特別対策事業（新マルキン事業）で、農畜産業振興機構は 2015 年度の生産者積立金の単価を公表しました。1 頭当たりで肉専用種は、1 万円（前年度比 8000 円下げ）、交雑種（F1）2 万 5000 円（5000 円下げ）、乳用種 1 万 7000 円（3000 円下げ）と 3 種そろって大きく引き下げました。肉専用種と F1 は、同事業が始まった 10 年度以降で最も低い水準となりました。今回の肉専用種は「全国算定県」で、地域算定県は 5 月の大型連休明け以降に県ごとに公表します。

新マルキンは、肥育経営で粗収益が生産費を割り込んだ場合、生産者と国が積んだ基金から、粗収益と生産費の差額の 8 割を補てんする仕組みです。14 年度は、輸入牛肉の減少などで国産枝肉価格が堅調に推移し、補てん金の支払いが減りました。こうした最近の傾向に加えて、生産者の負担軽減の狙いもあり、大幅な引き下げに踏み切るそうです。最近では、素牛価格の高騰が続いており、肥育農家を圧迫し続けている状況ですので、このような対策はどんどん行ってもらいたいものです。

【東北支店 宮城岩手担当：松浦卓也】

【東北支店管轄エリア】紙袋・粗飼料 配送カレンダーの改善について

東北支店担当（宮城県北、岩手）のお客様には、以前よりご協力いただいております配送ルートカレンダーについて、一部見直すことになりました。これまでは各地区 2 週間に 1 回の配達でしたが、今後は 1 週間に 1 回の配達を実施いたします。

宮城県北を 5 つの地区に分け、月曜から金曜までを順番に廻っていきます。これにより、「毎週〇曜日は自分の地区の配達日」と判り易くなり、こまめな配達で「お客様先でのエサ切れ」「長期在庫による変敗」などを防ぐことができると期待します。

5 月より実施いたしますが、年末年始や大型連休が挟まる場合は臨機応変に対応いたします。何卒お客様のご協力の程、よろしくお願い致します。

以下が曜日毎の配送地区です（バラ配送は該当しません）。

月曜・・・豊里、登米、東和、米山、南方、迫、石越

火曜・・・若柳、志波姫、金成、栗駒、一迫、岩出山、花山、鳴子、岩手

水曜・・・築館、高清水、瀬峰、古川、田尻、涌谷、三本木

木曜・・・中新田、宮崎、小野田、色麻、大衡、大和、富谷、大郷

金曜・・・松島、鳴瀬、鹿島台、松山、南郷、河南、河北、桃生、北上

【東北支店 大崎流通センター：佐藤研治】